



社屋全景

「AWA ブランド」製品の効率的な生産体制の確立と 販売力強化による地域経済への貢献



実施した事業の概要と成果

「AWAブランド」製品は複雑で高精度の加工を要求されるため、穴あけ・切断・面取り・塗装・組立の各工程を手作業で行っており生産性が低く、大口の受注ができなかった。

生産性・機能性の高い複合ボーリングマシンの導入により、加工工程の自動化による加工スピードアップ、加工ロスの減少・効率化で、高精度の製品が製作可能となったことで「AWAブランド」の品質を堅持しながら生産性の向上が実現し大口の受注にも対応できるようになった。



カルテジア：閉状態

カルテジア：開状態
(2方向に引出可能)



製品開発や課題解決の具体的取組み

「AWAブランド」の木工家具製品は複雑で高精度の加工を要求される為、柔軟な生産体制を構築する事ができず納期が長い。また、生産工程は、穴あけ・切断・面取り加工・塗装・組立加工の5工程が必要で、手作業のため生産効率が低くロスが大きいという課題があった。

PNC 複合ボーリングマシンを導入することで、穴あけ・切断・面取り加工の前半3工程が1台の複合加工機で処理できるようになり、

- ① 処理能力の大幅改善で製作期間が飛躍的に短縮できた。
- ② 単品・短納期対応が可能となり、海外等の受注の確保が可能となった。
- ③ 高精度加工が可能になり、ロス率が軽減された結果、品質向上に繋がった。



導入設備：PNC複合ボーリングマシン

事業者	本林家具株式会社
代表者	代表取締役 本林 隆行
設立年月	昭和44年12月
所在地等	〒771-0142 徳島県徳島市川内町沖ノ島414 TEL：088-665-0003 FAX：088-665-5498 http://www.motobayashi-kagu.co.jp
事業区分	ものづくり技術
資本金額	3,500万円
従業員数	19人
業種	家具製造業

本林家具株式会社の

代表取締役

本林 隆行



本事業取組みへのきっかけと目的

高度な加工技術と高級感のある鏡面塗装技術で特注家具の製造を展開してきたが、業界の競争に打ち勝つには「AWAブランド」を生かした製品を武器として事業展開していかなければならない。そのために品質を堅持しながらも生産性を上げ、短納期に対応ができる体制が必要であった。

今後の展望と活動予定

デザイン性・機能性に優れた「AWAブランド」製品を国内外に事業展開していく。また、新しい商品開発も、毎年1・2点を目標に取り組む。引続き徳島の地場産業の木工業界の発展、地域貢献の一環に寄与していく。